

# 急激な円安やインフラ投資など 大型株への追い風は継続中!



12月の総選挙前から底打ちの兆しが強まり、自民党大勝の確定後によりよ上昇基調が鮮明になった日本株。それを牽引したのが大型株の復活だ。今年もその流れが続くのか? 4人のプロが熱く討論!

## 2013年 大型株はこの決まり手に注目!

**決まり手 1 円安転換**

価格競争力アップもプラス材料に  
為替が円高から円安へと転換し、長く低迷していた輸出関連株が買い戻される動きが鮮明に。韓国企業と熾烈な競争を続ける電機業界にとっては価格競争力がアップするのもプラス材料。

1 想定為替レート  
● 想定 1ドル80円  
● 実際 1ドル85円  
この差に注目!

2 海外売上比率  
海外売上比率が高いほど円安メリットを受ける!

● 海外売上が1億ドルの場合  
1ドル80円 ▶ 1億ドル × 80円 = 80億円  
1ドル85円 ▶ 1億ドル × 85円 = 85億円  
5億円も差が!

国内 30% この割合に注目!  
海外 70%

**決まり手 2 国土強靱化**

10年で200兆の公共投資を予定  
震災などを教訓に自民党が掲げるのが国土強靱化プラン。国策としてインフラの耐震・補強工事が推進されれば、関連銘柄に特需が発生。

民主党  
自民党  
建設 道路 橋梁 耐震 に注目!

大転換!  
コンクリートから人へ  
人からコンクリートへ

**決まり手 3 駆け込み需要**

住宅、高額家電の特需に期待!  
14年4月に予定される消費税引き上げを意識し、住宅をはじめとする高額消費を前倒しで進める人が続出。いわゆる駆け込み需要だ。

消費税引き上げの日程  
14年4月 ▶ 8%  
15年10月 ▶ 10%

13年は  
不動産 車 家電  
など高額商品の駆け込み需要が発生!

最大の注目イベントは夏場に控える参議院選挙

13年の日本株はどのような推移を想定していますか?

佐藤 日経平均で言えば、高値はせいぜい1万8000円で、安値は9800円ぐらい。高値をつけるのは1月、4月、7月で、年後半はギリギリの展開だろう。やっぱり参議院選挙が今年一番の重要イベントです。それを通過すれば材料出尽くし。年末で証券優遇税制も終わるので、節税売りが出てくる。

三井 私はもっと強気。昨年末には外国人投資家主導で売買代金が小泉政権時代の水準まで増えたし、期待感が高まる7月の参院選の頃には1万2000円付近まで上がると思う。

飯村 私も強気。シェールガス開発で米国経済の経常赤字が縮小する一方、原発が停止した日本は経常赤字が定着しそうで、為替相場場でドル高・円安が進みそうだから。

新政権が打つ政策や円安を意識した物色に

村瀬 僕も基本的に強気だな。参議院選で国会のねじれが解消される可能性が高まったし、証券優遇税制も延長されると思う。ようやく日経平均8000円、1万円のリレンジ相場を上げた。世界的にも日本株の上昇率が突出しているのだから、おのずと資金

フィスコ日本株チームを率いる冷静沈着なリーダー!

**大転換期の今、弱気マインドはもう捨てよう!**

村瀬智一さん  
日経平均予測 高値 1万2500円(年末)

財務分析士積極的な企業取材に自信の美人アナリスト

**参議院選前がいったん利益確定させるメドに!**

三井智映子さん  
日経平均予測 高値 1万2000円(7月)

も流入しやすい。1万2000円〜1万2500円まで上昇しても不思議はない。

佐藤 少なくとも参議院選までは、国土強靱化法などといった政策への期待を背景に循環物色が続く。その流れの中で特に出遅れているのはメガバンク。今年前半に関しては、中国景気の持ち直しにも注目が集まる。それに伴って省力化投資も回復傾向を示し、ナブテスコやダイフクとかが改めて評価される。

三井 無難な路線なら、キヤノ

飯村 円安でトヨタをはじめとする輸出関連、国土強靱化で不動産のようなインフラ関連は注目されるはず。それから、女子的には東京ディズニーランドが開園30周年を迎えることも見逃せない。オリエンタルランドはすでに高値圏だけど、入場者数とかの記録を塗り替えそう。

飯村 住宅メーカーにも注目したい。消費税引き上げ(14年4月)を意識した駆け込み需要もそれなりに見込めます。

個人投資家に対し、今年の相場を攻略するためのアドバイスをお願いします。

村瀬 リーマンショック

ク以来、すっかり弱気なムードが蔓延して、ちょっと株価が上昇すると「もうそろそろ天井」と思ってしまうがち。でも、参議院選で与党が勝利すれば長期安定政権への道が開かれるのだから、日本株は大転換期を迎えていると僕は考えている。だから、すでに上がってしまったと感じられる銘柄でも、割安な水準まで一時的に下げたら、素直に押し目を拾ってほしい。

飯村 市場に埋もれているバリュー株を拾い出して、しっかりと

業界裏事情に詳しく、独自の感覚の銘柄選びに定評

**景気持ち直しで中国関連銘柄の見直し買いも!**

佐藤勝己さん  
日経平均予測 高値 1万800円(7月)

女性視点を重視し、日常の生活から大化け株を探す!

**シェールガス開発の影響でドル高・円安は継続へ!**

飯村真由さん  
日経平均予測 高値 1万2000円(7月)

個人的にはヘッジファンドの数が減っていることに留意すべきだと思う。どこまでも上値追いつける彼らがいなくなると、相場が一本調子で動くのは難しくなる。

村瀬 とはいえ、個人的にはさつきも指摘したように、すでに相場の大きな流れは転換して

佐藤 個人的にはヘッジファンドの数が減っていることに留意すべきだと思う。どこまでも上値追いつける彼らがいなくなると、相場が一本調子で動くのは難しくなる。

村瀬 とはいえ、個人的にはさつきも指摘したように、すでに相場の大きな流れは転換して

佐藤 いずれにせよ、今年の最大の注目ポイントは7月の参議院選なのは間違いない。それに先駆け、金融緩和に積極的な総裁が誕生するであろう3月の日銀総裁人事も市場でポジティブに捉えられる可能性がある。



左からフィスコの飯村真由さん、村瀬智一さん、三井智映子さん、佐藤勝己さん。強気派3人に対して弱気派は佐藤さん1人だが「総強気の時こそ、冷静な視点が大事」とアドバイス。

2013年 このテーマにも注目せよ!

- 欧米景気の回復** 金融危機から5年、ついに米国が本格回復へ。欧州の景気底入れも外需銘柄には追い風。
- 金融緩和・脱デフレ** 金融や不動産セクターが恩恵を受けるほかに、資産インフレにより高額消費も増加へ。
- 新エネルギー** 風力や太陽光などの自然エネルギー関連や、天然ガス等の採掘技術を持つ企業にも脚光が。
- 消費者金融の復活** 自民政権で貸金業法の改正が実現すれば、ここ数年逆風下にあった消費者金融が復活へ。
- アジアの消費拡大** アジア地域の経済成長により、日本の高品質の化粧品やトイレタリー、食品が注目される。
- 市況関連** 世界景気の本格回復で資源価格が上昇すれば、総合商社や海運株が買われる可能性大。